

災害時引き渡し訓練を行いました。

令和5年 7月26日（水） 全体研修

生活指導部を中心に教職員全体で災害時の引き渡し訓練を行いました。

まず最初に生活指導部より、訓練の目的である「①教職員全体の防災に関する意識を高める」「②自然災害時において引き取り人への円滑な引き渡しに取り組み、改善点を検討する」ことを確認しました。

そして、想定される状況（※①～④を参照）や引き渡しの概要の説明の後、保護者役と教職員役に分かれ、実際に引き渡し訓練を行いました。

想定される状況※:①自然災害発生後、一次避難が終了し、校内の安全が確認され、二次避難が完了。全児童生徒が体育館で待機している。②通学バスが走行不能となり、学校として引き取り人への引き渡しが必要であると判断した。③学校ホームページやマチコミメール等で情報を公開した。④随時、引き取り人が来校している状況である。

訓練では、本部と受付、アナウンス係を作り、円滑な引き渡しが行えるようにしました。保護者役は受付で保護者証を提示し、来校者証を受け取り、受付用紙に必要事項を記入しました。アナウンス係は、本部で受付用紙と災害時引き渡しカードを照合し、担任へ周知しました。担任は児童生徒に見立てた防災バッグを持って本部に行き、災害時引き渡しカードを受け取って、引き渡し場所で保護者役に引き渡しました。担任は保護者証を回収し、災害時引き渡しカードに必要事項を記入して、本部に提出しました。

訓練では、マチコミメールを保護者が確認できていない状況や、複数の引き取り人が時間をずらして来校する状況などを作って行いました。訓練では大きな混乱は起きませんでしたが、臨機応変に対応する必要性を感じました。

今回の災害時引き渡し訓練で、教職員は引き渡しの流れを実際に経験し、どのような状況が予想されるかを確認することができました。いつか起こるかもしれない災害へ向けて、大切な訓練だったと感じさせられました。

